

03. 暮らしやすさのタネ



魅力的なまちづくりの推進

◆空家対策・移住定住の促進◆

- ・地域おこし協力隊制度を活用した空家バンク事業の実施体制の強化を図るとともに、引き続き、空家の適正管理にしっかりと取り組みます。
- ・移住の取り組みを強化するため、本市への移住を後押しする移住支援金、新幹線通勤補助金を拡充します。

◆地域農業の担い手支援・市民農園の開設◆

- ・農業の担い手確保と農地を守るため、中山間地域である東草野地域の農業の担い手として、地域おこし協力隊2人を募集します。
- ・新たに農業へ挑戦しようとする人の関心と理解を深めるため市民農園の開設を支援します。

04. 元気のタネ



まちの元気を生み出す

◆国スポ・障スポ大会事業◆

- ・米原市では今年10月にホッケー競技が行われます。市民の皆さんと一緒に盛り上げていくことで、様々な交流が生まれ、感動を分かち合い、記憶に残る大会となるよう運営します。



去年9月に開催されたリハーサル大会の様子

◆活気あるまちづくり◆

- ・人を呼び込み、活気あるまちづくりを進めるため、駅前等の中心市街地で飲食店等の新たな店舗開設を支援する制度を創設します。
- ・地域資源を生かし、地域課題の解決に繋がる創業支援を拡充するほか、企業誘致に積極的に取り組みます。

05. 飛躍のタネ



将来を見据えたまちづくり

◆市制20周年記念事業◆

- ・市制20周年を迎える今年、市政の発展に貢献いただいた方の表彰等のほか、伊吹山に自生する植物の苗を子どもたちや市民が育て、伊吹山に移植する、市民参加による伊吹山の復元に取り組むことで、まちへの愛着や誇りを育みます。
- ・本市にゆかりのある人たちに市の応援団となってもらえるような関係づくりを進めるためのPR活動等、まちの未来を育て、飛躍へと繋がる一歩として、事業を進めます。



◆行政経営改革の推進◆

- ・人口減少と高齢化が進む中、限られた経営資源を最大限に生かし、財政の健全化と質の高い行政サービスの提供を維持していくため、人材育成や公共施設の最適化等の行政経営改革を進めます。

令和7年度 施政方針

未来への5つの「タネ」をまき、



まちの未来を育む

令和7年は、米原市が誕生して20年を迎える節目の年となります。これまでの20年を振り返り、最大の課題でもある「人口減少」に対応できるまちづくりに取り組む1年と位置付け、市民の皆さんとともに、50年後、100年後も幸せに生き続けたい米原を目指し、まちの未来への「タネ」をまき、芽を育む年にしていきたいと思います。

米原市長 角田航也



01. 力強さのタネ



災害への備えと、自然再生

◆木造住宅の耐震化促進◆

- ・災害に強い住環境を整備するため、木造住宅の耐震診断や関係補助金の情報発信に引き続き取り組むとともに、耐震改修等補助金の上限額を引き上げます。

◆伊吹地先土砂災害への保全対策◆

- ・市道伊吹太平寺線への落石防護柵の設置等を行うとともに、県と連携し砂防、治山えん堤の新設等を進め、地域の安全確保を図ります。

◆伊吹山植生復元プロジェクト◆

- ・ニホンジカの捕獲、南側斜面の崩壊防止対策と植生回復、山頂や3合目での植生保全の3つの取り組みを強化し、さらなるPR活動を進め、伊吹山再生に向けた応援の輪を広げます。



02. 安心のタネ



安心して暮らせる地域社会の実現

◆移動市役所の運用開始◆

- ・地域で安心して住み続けられる行政サービスへの転換を図るため、オンライン申請や遠隔相談システム等を搭載した車両を移動市役所として運行し、デジタルの活用と、対面によるアナログの良さを活かした行政サービスと安心を地域へ届けます。

◆開業医誘致補助制度の見直し・拡充◆

- ・医療提供体制の安定と充実を図るため、開業医誘致補助制度の見直し、拡充を行います。

◆小中学校体育館空調設備の整備◆

- ・子どもたちの安全安心な教育環境および避難所としての環境向上のため、米原小学校および双葉総合体育館の空調設備の整備を進めます。